今夜
ねとられちゃいます！
by　伊藤屋

ねえ…
ユウジくんが…
最近ちょっと…
えっ…ユウジが
なんかあったのか？
私のこと
見る目がね…
なんかちょっと
怖いっていうか…
なんだそれ…
考えすぎだよ…
とにかく今
忙しいから…
もう切るよっ！
イラッ
ああぁっ
ちょっと～
なによっ！
っもう！
忙しい忙しいって
何時もぉ～
スッ…
おはよっ！
真里奈さん
どうかしたのぉ？
あっ…おっ
おはよう…
別になんでも
ないのよ～

下宿人のユウジくん…
単身赴任の間
無用心だからって…
主人の田舎から
連れてきた子なんだけど
ちょっと!
ユウジくん
下着姿のまま
うろうろ
しないでよ～
えっなんで？
もしかして
興奮したりとかぁ
ニヤ
そうじゃなくて…
一応ね…ほらっ
他人同士な訳だし…

そんな寂しい事言わないでよ～
留守中は隆さんの代わりなんだぜ
なんならベッドでも代わりにお相手しますけどぉ！
ちょっ・・・
そういう冗談はや・め・てっ！
あれ～冗談に聞こえちゃった？
とっとにかくっそんな格好で家中うろつき廻らないでっ
それと卑猥な冗談もやめて・・・
これよ・・・この目・・・なんなのよ気持ち悪くって怖いんだけど・・・

失礼しちゃう！
まだ半人前の
くせに・・・
でも・・・そんなに
欲求不満に
みえちゃってるの
かしら・・・私・・・
チュッ
チュッ
んっ？
カチャッ
ズン
ピクッ
ピクッ
えっ・・・！

ピク
えっ、
ピク
えっ？
あちゃ～
ごめんいるの
わかんなくってさぁ
ひっ・・いぃ！
きゃあぁぁっっ!!
ゎぁ!!
はぁ
はぁ・
はぁぁっ
えっ・・なんで？
こんなに・・・
ドキドキしてるの
ドギッ
ドギッ
ドギッ

考えすぎなのかな～
今日
マリナさん今日は悪ふざけが過ぎました ごめんなさい
今夜はサークルのコンパっす！朝帰りになるけどよろしく！
ハァー
んっんーっひさびさに解放されたな～
バフッ
・・・・
それにしてもおおきかったな・・・
ぬんっ
ガキッ
あんなのがもし・・・・
ガキッ
ガキッ
ふぅ～
やっぱり・・・欲求不満なのかな～

確か…
式の二次会で
友達からもらった…
カサッ
カサッ
試しに
ちょっとだけ…
スッ
カチッ
んっ…
んっん…っ
クィィン
クィィン
はっあ…
あっ…
ピトッ
ビクッ
ふっんぅ…
んんっ…
あっ!!
ビクッ
ビクッ
くはあぁ…
なにこれっ
すごくいいっ!

おやおやぁ～
取り込み中
でしたかぁ？
えっ！
やっぱだいぶ
溜まってたんだぁ
ねっ麻里奈さん！
遠慮しないで
言ってくれれば
いいのにさぁ
はぁ…
はぁ…
ちっ違うの…
これは…
試してただけでっ
ハァ
ハァ
だから初めて
こんなこと…
ホントよ！
またまた～
しょっちゅう
してんだろ～
違うわっ
そんなっ！
なら…
チェックして
やるぜ！
すっ
なっ…
やっやめてよ！
ドキッ

すかり出来上がってめっちゃ濡れてるじゃないの～
やっやめて何してるのよっ
やぁっ！
ロータなんかじゃたかが知れてんだろ
そんな…ダメよこんなこと！

いいから任せてよ～溜まってんだろ！
やっぁ・たっ隆さんに言いつけるわよっ！
その隆兄さんの代わりだと思って楽しもうぜ～
へへッようやくありついたぜ！
あんっ！
いやぁだっ・・・だめだってばぁ！

いいね～
その反応・・・
ますますそそって
きたぜ～
はぁ
はぁ
えっ！
・・・やっ！
いやあっーっ！
っだっ・・・やぁっ！
ひぃ!!
くぱっ
蒸れたマ〇コに
陰毛が張り付いちゃって～
食べごろじゃねぇの！

やっぱ濃厚だね～
人妻のマ○コってのは
一味違うぜ・・・
今日は
暑かったからね
蒸れ具合も
格別だわ！
いやあっ
そんな事ぉ
言わないでぇ！
本当にぃやめて・・・
こんなのぉ隆さんに
知られたらぁ・・・
ふぅ～ん
ならさぁ・・・

口でしてよっ
それで終わりに
すっからさぁ～
スルッ
スルッ
ハーイ♡
えっ…なんで
そんなことを…
ハーイ♡
えっ～ここまできて
おさまりってもんが
就かないじゃんかぁ
じゃあ…本当に
これっきりに
してくれるの？
ああっ全部二人の
秘密だってことで
いいだろ～？
あーん
んもぉ～
本当にっ
約束だからねっ！
んんっん
んぷっ…
ぐぽっ
ぶぽっ
ぶぽっ
ぐぽっ
んフゥ…
くっうっ…いいねぇ
満里奈のフェラ顔
見せてくれよ！

いいねぇ～
なかなか
うまいじゃん
じゅぷっ
どう？
食べごたえ
あんだろ
このサイズはさぁ
んぶっ
ぐぼ♥
ぐぼ♥
んぼっぽっ♥
ほらもっと！
たっぷり出して
やっからさ～
じゅぼっ
じゅぼっ
んんっ！
んぼぼっ
ふっ
んグゥ！

ぷぴっ
くっ・・・そらっ
いくぜっ！
ふはっっぁ
ほらったっぷり
味わえよっ！
はっぁっ
あああっ！


ハッー
ハッー
へへッ
たまんないね
興奮したぜ・・・
うっ・・・生臭い・・・
ひさびさに
飲んじゃった・・・

えっ？もう
終わったんじゃ
ないのぉ！
いやぁっ
なに？まさか
本当に終わると
思ってたのぉ
ひっひどい・・・
これ以上
されたら・・・
でっでもっ
お願い・・・
これはつけて・・・
すっ
私だって
我慢できなく
なっちゃう・・・

なんだいやいや言いながらビチョビチョじゃん！
ああっいいから早く済ませてよぉ
そんじゃぁいくぜっ！
くおぅっ凄え締まりじゃん最高だぜっ
ずぼっ
じゅぼっ
ひぃっ
あひっ
・・・締まってるって・・・あんたのが大きすぎてキツイだけよっ・・・なんなのこの太さ・・・

隆さんとどっちがいい？
言ってみなまりなぁっ
はぁ～!!
これがぁすごっすごいのぉ全然違うからぁ
だったらご褒美もらわないと
ほら舌出してっやらしい唾液すわしてよ！
あっ・・うっう・・うん・・
んっ・・・
あっ・・う♡

もうだめっ
この極太チンポで
滅茶苦茶にして
欲しいのぉぉっ！
むぐ～っ
ぶぐっ♥
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ

ありがと
メリメリ
ドプッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ♥
どろっ
ペトッ
あっやぁっ…
じゃあ…これ記念にやるよっ
ぷらーん
ぷらーん
…ふ～まあよかったかな
どうしよう…私…取り返しのつかない事しちゃった…

翌日
チュン
チュン
昨日は…
どうかしてた…
もう…忘れないと
そう…あれは
事故みたいな
ものよ…
おはよう！
麻里奈ちゃ～ん
ヌッ
昨日のせいで
朝から
お勃起ちゃって
おさまらないん
だけどぉ
あっ…
やっやめて！
ズッ
なんだよぉ
つれないな～
ビッ
がばっ

だったらもう一回・・フェラだけでいいからさ
それで全部なかったことにしようぜ
えっ・・・本当にこれっきりよ
分かってるって心配すんなよっ
ハアッ
むはぁっ
んはぁ
ふ〜たまんねぇやっぱ麻里奈のフェラは最高だぜ！
うっっ〜
なんて大きくていやらしいチンポ・・・昨日からずっと頭を離れなくって・・・
やだ・・・わたしったら・・・興奮しちゃってる
んぽ♥

あの人と全然違う…
なにこの弾力…
ふぐっ
ぐぽっ
んぽっ♥
ぐぽっ
おぉ…
そうだ…
もっと激しくな！
ぺろ
じゅぽ♥
じゅぽ♥
激しくすると
どんどん
硬くなってくる…
んぽっ
じゅるっ
くうっ！
すげえぜ！
んぽ♥
だめだっ
だっ射精すぜ！
じゅ
ドッドッ
ぷぷ
じゅ
んぽ!!
だめっこんなの！
早く終わらせなきゃ
じゃないと私…

おらっ！
たっぷり
味わえよ！
ドピュッ
ドクッ
ん…
んっくっぅ…
んぷっ♥
そうそう
こぼさないで
飲むんだぜっ！
こんなに
いっぱい…
それにすごっく
濃くて…
いやらしい味…
じゃあ
約束どうり
これっきりで
終わりだ
うっ…
……
そこそこ楽しめたぜ
まあ俺も
飽きっぽいからさ
もういいや！
じゃあなっ！
くうっっ
飽きた…って
なんなのよ…
それ…

その夜・・・
もう終わった・・・
でも・・・
だめ・・・頭から
離れない・・・
あんなひどい目に
あったのに
私・・・本当は・・・
忘れないと・・・
あんな奴の
ことなんか・・・
本当に・・・
いやらしい男・・・
何か・・・ぽっかり
抜け落ちたよう・・・
なんだろう
この感じ・・・
すごく
興奮してた！

でもっ・・・もう・・・
私には隆さんが・・・
だからせめて一人で・・・
あっ
ビクッ
づっ～～
ふあっ！
沈めないと・・・
アイツへの
誘惑と衝動を！
プル
プル
ああああっ！
はぁ
はぁ
・・・・～～
・・やっぱり
自分でしても
あの感覚が
忘れられない・・・

結局…
一人じゃぁ
絶頂なかった…
クイッ
クイッ
隆さん…早く
帰って来て
くれないかな…
だけど隆さんじゃ
満足できないかも？
私…これから
どうすれば…
きゃっ！
んっ？
ムギュ
そんな警戒
すんなって！
襲われるとでも
思っちゃたの？
残飯には
興味ないんでね
じゃあね～
なな…
残飯？…って
こんな侮辱
ゆっ許せない！

このままじゃ…
気が済まないっ！
ガチャ
あれ～？
どうしたの
真里奈さん
私だって
貴方に興味ないし…
大嫌いよ！
言いたいのは
それだけよ！
なんだそんな事
わざわざ言いに
来たんだ…
そんな格好のままぁ？
いいじゃない
じゃあ…
行くわ！
ちょっと
待ちなよ！
っな…
なによっ！
期待してたんだろ
こんな事をさぁ～
やっ！何よぉ
私に興味なんて
ないんでしょ！

自分から姦られに来るなんてなぁとんだ淫乱だな～
そっそんなんじゃ…
キュッキュッ
そうよ…こうなる事を期待してた…
そんなに欲しいならご希望どおりに…
はあっ
グイッ
あぁ♡
ビクッ
ひぃっ♡
いくとこまでとことん昇天かせてやるぜ！
パン
これっ…これなのっこの大きいおちんちんの感触…これが欲しかったのぉ！

ほらっ
こんな風にして
欲しかったんだろ！
ズボッ
いっやあああっ
違うのぉ
こんなのだめぇっ！
これっ！
これなのぉ
こんな快感
忘れられないっ！
ビクッ
ズボッ
はあっ…
すごぉ
ビクッ
あっ♡
あひっ…
すげえよがってん
じゃんかよ！
ズチュ
ズブッ
生ちんぽ
ぶち込まれて
感じまくりやがって
そうなのぉ
おかしくなりそうな
くらい気持ちいいっ！
あっ♡

チンポ大きすぎてっ
もうわたし…
おかしくなるぅ！
ひっ♡
いいんだぜ
おかしく
なっちゃえよ！
ピク
はぁ
おれもチンポが
おかしくなるまで
やってやっからさっ
ピク
はぁ
ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぐっ！
気持ちよすぎて
なにかが
壊れていきそう…
…違う…
もう壊れてるみたい…

じゃあなかに射精(だ)してやるぜったっぷりとな！
はぁ・ふぁいぃ
はぁっ
ほら淫乱女が孕んじまいなっ！
いっいくぜっ！
おらぁぁっ！
あっぁぁああああっ！

ふーっ…
ぬぷっ
さあて…次はどうしてほしい真里奈さんよぉ～
はぁっ
はぁっ
今日…危険日？でも…もう…どうでもいいの！
はぁっ
はぁっ
もっと…
もっとしてぇ！
へへっそんなら…
好きなだけぶっ飛んじまいな！
ビクッ
ビクッ
あひっ♥
はぁっああぁ！

ははっまるで
雌豚だな
真里奈さんよぉ！
ろぉひぃぃ
雌豚でいいからぁ
もっとぉ
激しくしてぇ！
よし確実に妊娠
するくらい
射精してやるぜ
いいよな？
はい…
妊娠させて
くださいっ！
あなたみたいな
ちんぽの大きい
男の子がほしいのっ

だめだなっ！
女じゃなきゃ
親子丼できねえし
あぁっ
はいっ
おらぁっ！
しっかり孕めよっ
いくぜぇっ！
ドク
ドク
ドク
はああっっ
子宮（なか）にいっぱい
きてるうっっ！
ポタッ
ポタッ
へっ…
こりゃ完全に
できあがてんな…
おちんちん…
もっと…
ザーメン…
ちょうだい…
いっぱぁい欲しいのぉ
んっ♥ぱっ
ぴちゃっ
れろっ
ぴちゃっ
れろっ
…変われば
変わるもんだな…
ちゅ～♥
ちゅぷっ
もう…何もかも
色んなものが
ふっとんじゃたぁ…

どうよっ
これなら奥まで
ぶっ刺さるだろっ！
はぐ…
ヒッ
フー
フー
フー
はひいいっ！
おかしく
なっちゃうよぉー
もうだめっ！
わたし・・多分
完全に壊れてるぅ
おらっ！
徹底的に
壊れちまえよっ
身体も心も
快楽に
支配されて・・・

まだまだっ
終わらねえぜっ！
はああっ！
パン
パン
ドプッ
はぁ
はぁ
あはっ♡
ビュルル
子宮を満たすザーメンの感触…
その衝撃と快感に
最高の幸せを
感じたの…

俺だけの性処理女に成るんだぜ！
ああっうれしい性処理肉便器に成らせて……
その日朝まで何十回したか…覚えてないの
ふぅ…今日はさすがにもう終わりだな…
はぁー
だめぇ…もっとぉ…
はぁー
もっと…いっぱい頂戴…❤
あぁ～❤

ひと月後・・・
ただいまぁ
ハァ
ハァ
ガチャッ
おかえりなさい
予定より
早かったのね！
んっ？どうした
ずいぶん顔が
真っ赤だけど・・・
えっ・・・そう？
久々に貴方に
会えたからなぁ・・・
なんてねっ！
んっ？
おやっ・・・
なんだこれ？

なんか床が濡れてるけどなに・・・？
あっ！これ・・・あのぉ・・・
おっ・・・お風呂を掃除してぇ・・・すぐに入るでしょだからぁ～
やだぁ・・・さっき射精(だ)されたのが・・・溢れ出てるよぉ
どろぉ♥